

令和元年9月 定例記者会見（報告）

1 日 時 令和元年9月25日（水）午後1時～午後1時20分

2 会 場 庁議室

3 出席者

<報道機関>朝日新聞、山形新聞、米澤新聞社、読売新聞、毎日新聞、河北新報、
Y T S

<市> 市長、秘書広報課長、担当者

4 記者倶楽部からの質問事項

- (1) ふるさと納税返礼品にPCを復活させた狙いは何ですか。総務省が示す3割の基準をクリアする新しい基準で適応していますが、そもそも最初からその適応ルールに変更して「地場産品」のPCを返礼品として贈り続けていてもよかったですのではないのでしょうか。
- (2) 市長選に元衆議院議員が立候補表明しました。見解を聞かせてください。
- (3) 長寿日本一を掲げる中川市長は愛煙家でもあります。健康を考えて禁煙するお考えはありますか。

5 内 容

○秘書広報課長

それでは、定刻となりましたので、令和元年9月の定例記者会見を始めさせていただきます。初めに、市長から質問に答えさせていただきます。

○市長

よろしくお願いします。今回は3つ質問を頂戴しております。まず「ふるさと納税返礼品にPCを復活させた狙いは何ですか。総務省が示す3割の基準をクリアする新しい基準で適応していますが、そもそも最初からその適応ルールに変更して『地場産品』のPCを返礼品として贈り続けていてもよかったですのではないのでしょうか」という質問についてです。

平成27年の4月にふるさと納税の返礼品としてノートパソコンの受付を開始しております。平成28年度の寄付額が県内でもトップの35億円となった訳ですが、そのうちノートパソコンは8割強を占めておりました。平成29年4月に総務大臣の通知があり、家電製品、家具、貴金属、時計、カメラなど、資産性の高いものについては、返礼品から取り下げるといいうものでした。また、寄付額に対して返礼割合は3割以下にしてくださいという通知もあり、本市としては、平成29年7月にノ

ートパソコンを返礼品から取り下げました。その他にも、商品券や有機ELスタンド等も返礼品から取り下げました。

しかしながら、平成30年4月1日の総務大臣通知では、地場産品の明確化ということで、地域資源を活用し地域の活性化を図ることがふるさと納税の重要な役割であることを踏まえれば、返礼品を送付する場合にあっても、地方、団体の区域内で生産されたものや提供されるサービスとすることが適切であるということも示されました。平成31年の地方税法改正により地場産品返礼品割合3割以下が法に明文化されました。これまでこのような経過がありました。

こういった中でノートパソコンを復活した訳ではありますが、今申しあげましたように、今年度、地方税法が改正され、返礼品も地場産品であること、返礼割合が3割以下という返礼基準が明確化されました。それによって、他の自治体においても以前からパソコンを返礼品として扱っていた自治体もありましたので、県を通して総務省に確認などを行ってきました。総務省からも明確な答弁はなく、地方税法で改正されたのは、先ほど申しあげました二つの項目だけでありましたので、そういったことを踏まえて、米沢市もノートパソコンを復活させたというのが経緯でございます。

次に「総務省が示す3割の基準をクリアする新しい基準で適応していますが、そもそも最初からその適応ルールに変更して『地場産品』のPCを返礼品として贈り続けていてもよかったのではないのでしょうか」という質問についてです。この件につきましては、先ほど言いましたように、平成29年の4月1日に総務大臣通知があった後に、翌月には総務省より直接見直しの要請があり、その後も、総務省から直接電話いただき、見直し、この場合、返礼割合を3割にしてください、という要請ではなくノートパソコンをいつ終了するのかという要請でありました。その時点で、3割にして継続という選択肢はなく、取り下げ、という決定をした経過がありました。返礼品として続けていきたくったのですが、家電製品、家具、貴金属、時計、カメラ等の価値の高いものは認められないという通知があった中で、直接総務省から電話もあったことにおいて、パソコンを取り下げたという経過でございます。パソコンについては以上です。

次に、「市長選に元衆議院議員が立候補表明しました。見解を聞かせてください」という質問です。近藤さんが記者会見をされたのが、8月の下旬頃だったのでしょうか。その前からいろいろ、取り沙汰されておりました、いずれは立候補表明するのではないかと前から想定されておりました。記者会見をして市長選に立候補するということをお聞きし、「いよいよ立候補の意思を固められたのだな」と思ったというのが、率直な想いであります。

また、「長寿日本一を掲げる中川市長は愛煙家でもあります。健康を考えて禁煙するお考えはありますか」という質問についてです。今のところ、私自身いたって健康であります。そして、自分の健康を考えてということですが、一番重要なのは自己管理をしていくことであろうと思っておりますし、また、議会でも取り沙汰されております受動喫煙防止という観点からも、愛煙家かどうかは分かりませんが、これからもそう

いったことで、自分の健康を考えて禁煙するというのもあろうかと思っておりますけれども、今のところはしっかりと自己管理をし、受動喫煙の防止をしながら、対応していきたいと考えております。私からは以上です。

○秘書広報課長

市長からの回答は以上であります。質疑がありましたら、幹事社を中心にお願ひします。

○幹事社

私から三番目の項目について質問です。市長は今、どのくらい吸って何年くらいになられるのでしょうか。

○市長

たばこの歴史は古いです。20歳あたりから吸い始めて、やめるということもあったのですが、今は以前に比べて大分少なくなりました。今は車の中や自宅に帰ってからの気休め程度です。

○幹事社

三日に一箱くらいですか。

○市長

そうですね。三日もつかもできません。今は電子タバコを吸っております。

○幹事社

いつから電子タバコに変えたのでしょうか。

○市長

J Tからご挨拶に来られた時があり、秘書の方に持って来ていただいたことがありました。

○幹事社

数年前ですか。

○市長

そのくらいですね。

○幹事社

それに変えてから減ったのですか。

○市長

減りました。

○幹事社

すごく吸っていた時代というのは、いつくらいでどのくらいの時期なのでしょう。

○市長

若い頃はそんなに吸っていなかったと思います。県会議員になった最初の頃は吸っていましたが、一日一箱くらいだったと思います。

○幹事社

これに対する回答としては、自己管理をしっかりと、受動喫煙の防止に心がけていくということですね。

○市長

はい。

○幹事社

要するに、そのうちやめるかもしれないけれども、今のところはやめる気はないということでしょうか。

○市長

やめる気がないわけではないです。つい、考え事をするときには、何と言いますか、むしろ抑えている方が健康に悪いのではないのかなと、そういうこともありまして、人に迷惑をかけないということです。

○幹事社

たばこを吸っていて、調子は悪くないということですね。

○市長

多少、疲れはあるのかもしれませんが、今のところは健康です。

○幹事社

スポーツクラブに通って体を鍛えているのですよね。

○市長

はい。10月にはマラソンも走らなければなりません。

○幹事社

フルマラソンですか。

○市長

市民マラソンです。

○幹事社

それは初めてですか。

○市長

いえ、去年も走りました。

○幹事社

なるほど。

○市長

なかなか、今はスポーツクラブに行く機会がなくなりました。

○幹事社

それでは、身体も鍛えているので、たばこの歴史は長いけれども、社会的にはたばこは健康に害と言われているけれども、やめなくても大丈夫だということですね。

○市長

私自身は今のところ大丈夫です。

○幹事社

私もたばこを吸いますから、別にやめろと言っている訳ではありません。

○市長

そうですね。やはり健康長寿については手本を示さなければなりません、今禁煙

を約束して、できずに批判されるのも困りますので。

○幹事社

手本を示さなければいけないので、やめますという回答なら分かるのですが。そのうちやめるということですね。

○市長

そのようにしたいなと思います。選挙も終わって落ち着いたらやめるかもしれません。

○幹事社

選挙も終わって、安泰な結果になったらということですね。分かりました。幹事社からは以上ですので、各社からお願いいたします。

○記者

市長選に向けての準備はどこまで進んでおりますでしょうか。

○市長

私自身は毎日公務に追われているものですから、他の候補よりも遅れているかもしれませんが、後援会の方で準備をしていただいて、9月29日（日）に事務所開きということで進んでおります。

○記者

公約や政策については、どの辺まで決定しておりますか。

○市長

だいたいは固まってきておりますが、どの時期にどう出したらよいかということもありますので、そこはいろいろ回りを見ながら対応していきたいと思っております。第一段目のパンフレットについては、29日に合わせて出す予定にはしております。

○記者

公務に追われているとのことですが、「市長を囲む座談会」は何地区ですか。

○市長

今回は14地区でした。

○記者

市民の方々からはどのような要望、意見が出されたのでしょうか。

○市長

地区からの要望だと、圧倒的に多いのは道路網、交通安全対策や、河川の支障木の取扱いなど、そういった細かいものも多いですし、また、継続して道路整備の問題についての要望も多かったと思います。ただ、ある地区ではコミュニティセンター建設についても急ピッチで進めてきましたので、まだ計画されていない所が二箇所あり、一地域からは要望が出てきておりました。

○記者

道路網、交通安全、河川、コミセンなどそういったことが出てきているとのことですが、それ以外はどうでしょうか。

○市長

それ以外にも、地域全体の活性化についてお考えがあるようでした。今までのやり取りの中で、すぐに答えが出るものもありますし、一定程度時間がかかるものもあります。例えば、北インターチェンジ周辺の土地利用を今後どう考えていくか、これは長期的に第二期国営工事との関わりで、すぐに手を付けられるというものでもないので、将来に向けてどのようにインターチェンジ周辺の土地利用を考えていくのか、という米沢市全体についてのご要望もいただきました。

○記者

人口減少について各地区の方から質問はありましたか。

○市長

人口減少については、周辺部や中央部もそうですが、心配をされているようです。その地域によって若干違いはあると聞いておりましたが、地域を運営していくうえで、いろいろな役職がある訳ですが、そういったこともなかなか成り手がいないという話もいただいて、人口減少の中で、いろいろな地区毎の取り組みもありますので、そういったものについて、今後、どのようにしていくかということも、我々としては、しっかりと考えていかなければならないと思っております。

○記者

分かりました。

○幹事社

他にありますでしょうか。無いようですので、その他について質問をお願いいたします。

○記者

はい。大沼サテライト店がグランドオープンしましたが、どのようなご感想をお持ちかということと、中心市街地の活性化について、改めて今の想いをお聞きしたいと思います。

○市長

大沼が閉店して一か月ちょっと経った訳ですが、一階だけの販売面積のようですが、それは単純に良かったなと私は思っております。今後、経済界も含めて、大沼の動向もあると思いますが、大沼が閉店する時、サテライト店をつくりたいという話は聞いていたのですが、今の建物を利用してというのは最近のことだったものですから、やはり、「大沼というデパートがこういった形で、残っているのは大変ありがたい」というコメントもニュースで流れておりましたので、全くその通りだと私も思っております。

○幹事社

私から関連の質問ですが、ナセBAの前が更地になりました。結構広大な土地で民間のものですが、どのようになるのか、考えがあるのか、計画があるのか、具体的なものは今あるのでしょうか。知っている限りで教えてください。

○市長

二、三か月前だったでしょうか。今の持ち主の方から、特別、何かをするということと取得した訳ではないとお聞きしました。今後、行政もどう関わっていくかということも含めて、計画があったら協力しますというお話は承っております。

○幹事社

行政的には今のところ計画はないのですね。

○市長

行政でどのようにするというものはありません。

○幹事社

分かりました。他に質問はありますでしょうか。

○秘書広報課長

無いようですので、令和元9月の定例記者会見を終了いたします。